

# SEIKO セイコーウォッチ

## 取扱説明書 INSTRUCTION

### V654

このたびはセイコーウォッチをお買いあげいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手もとに保存し、必要に応じてご覧ください。

## セイコーウォッチ株式会社

本 社 東京都千代田区五番町6番地2 〒102-0076

セイコーウォッチ株式会社

お客様相談室  
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-1-10 1階 (03)3535-2211  
〒550-0013 大阪市西区新町14-24 (大阪西/橋新町ビルディング8階) (06)6538-6541

お客様相談係  
〒069-0061 札幌市中央区南一条西7-20-1 (011)231-0615  
(札幌スカイビル4階 セイコーサービスセンター内)  
〒810-0801 福岡市博多区中洲5-1-22 (092)271-2538  
(松月堂ビル6階 セイコーサービスセンター内)

全国共通フリーダイヤル  
0120-612-911 (上記の最寄地に着信いたします)

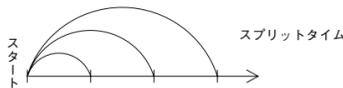
## ■特長

キャリアバーV654は、時刻のほかに1秒計測ストップウォッチを備えたアナログクォーツ時計です。

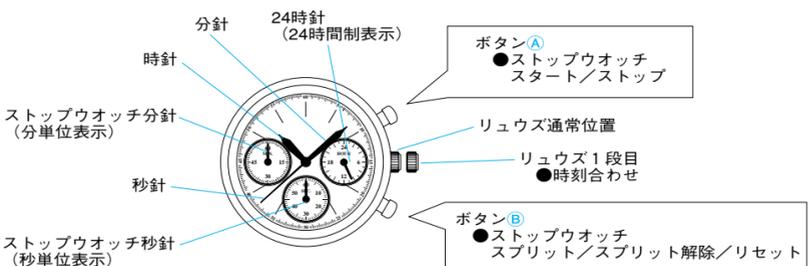
- 時刻  
時・分・秒の他、24時間制を表示します。

- ストップウォッチ  
1秒単位の計測ができる60分計です。また、スプリットタイムも計測できます。

※スプリットタイムとは、スタートからある区間までの途中経過時間をさします。



## ■各部の名称とはたらき



※ストップウォッチは、時刻とは別に独立して計測します。

## ■ストップウォッチ秒・分針の0位置確認と合わせかた

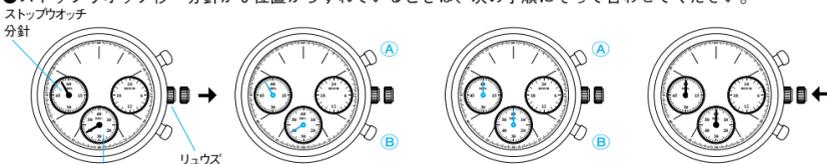
時刻合わせの前に、ストップウォッチ秒・分針が0位置（12時位置）に合っているか確認してください。

※ストップウォッチが計測中のときは、次のボタンを押してリセットしてから0位置確認をしてください。

(詳しくは「■ストップウォッチの使いかた」の項をご参照ください。)

- ・針が動いている状態： ボタンA→B
- ・ストップ状態： ボタンB
- ・スプリット状態： ボタンB→A→B

●ストップウォッチ秒・分針が0位置からずれているときは、次の手順にそって合わせてください。



- リュウズを引きます。
- ボタンAとBを同時に約2秒間押して、ボタンを離します。  
・ストップウォッチ秒針が左右に回り止まります。
- ボタンAまたはBを押してストップウォッチ秒・分針を0位置へ合わせます。  
・ボタンAを押すごとに、針は左回りに送ります。  
・ボタンBを押すごとに、針は右回りに送ります。
- リュウズを回し時刻を合わせた後、リュウズを押し込みます。  
(詳しくは「□時刻の合わせかた」の項をご参照ください。)

※ストップウォッチ分針は、ストップウォッチ秒針の動きに合わせて回ります。  
※早送り修正をするときは、ボタンを押し続けます。

電池を交換した後は、時計内のICメモリー情報とストップウォッチ秒・分針の表示位置が一致しくなりますので、上記の手順にそって合わせてください。

## ■時刻の合わせかた

※時刻を合わせるときは、かならずストップウォッチを止めてからおこなってください。



- リュウズを引きます。秒針は止まります。秒針は12時の位置に止めてください。  
※リュウズが引き出せない(ねじロック式リュウズ)モデルは、リュウズを左に回してねじをゆるめ、リュウズを引くと秒針は止まります。  
※ボタンを押すとストップウォッチ秒針がずれますのでご注意ください。(詳しくは「□ストップウォッチ秒・分針の0位置確認と合わせかた」の項を参照ください。)
- リュウズを回して針を合わせます。24時針は、時計の動きに合わせて回ります。午前/午後に注意して合わせてください。  
※クォーツは機械時計と機構が異なりますので正確に合わせるためには、分針を正しい時刻より4～5分進めてから逆にもどして合わせてください。
- 時報と同時にリュウズを押し込みます。  
※ねじロック式リュウズのモデルは、リュウズを押しつけながら右に止まるところまでねじ込んでください。  
※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

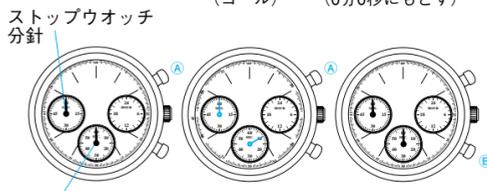
## ■ストップウォッチの使いかた

- ストップウォッチは、時刻とは別に独立して計測します。
- 1秒単位（1/10秒単位は切り捨てて表示）の計測ができる60分計です。

【普通の使いかた】

例：100メートル走 [ボタンを押す順序：A→A→B]

[スタート] → [ストップ] → [リセット]  
(ゴール) (0分0秒にもどす)

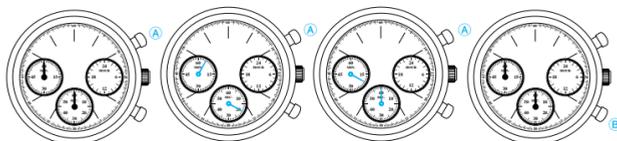


ストップウォッチ  
秒針 10秒

【時間計測を精算でおこなうとき】

例：バスケット [ボタンを押す順序：A→A/A→…→A→B]

[スタート] → [ストップ]/[スタート] → … → [ストップ] → [リセット]  
(試合開始) (試合中断) (試合再開) (試合終了)



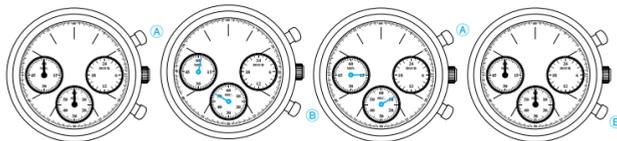
5分20秒 20分00秒

※途中のスタート/ストップは、何回でも繰り返すことができます。

【スプリット計測をおこなうとき】

例：5,000メートル走 [ボタンを押す順序：A→B/B → … → A→B]

[スタート] → [スプリット]/[スプリット解除] → … → [ストップ] → [リセット]  
(ゴール)



2分50秒 15分10秒

※途中のスプリット/スプリット解除は、何回でも繰り返すことができます。

## ■製品仕様

- 水晶振動数：32,768 Hz (Hz=1秒間の振動数)
- 精度：平均月差±20秒(気温5℃～35℃において腕につけた場合)
- 作動温度範囲：-5℃～+50℃
- 表示内容：時刻・…・時/分/秒/24時  
ストップウォッチ・…・秒/分
- 駆動方式：ステップモーター式 2個
- 使用電池：小型銀電池 1個 SB-AN (SR920SW)
- 電子回路：C-MOS-IC 1個

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

## ■ルミブライトについて

【お買い上げの時計がルミブライトつきの場合】

ルミブライトは太陽光や照明器具の明りを短時間(約10分間：500ルクス以上)で吸収して蓄え、暗い中で長時間(約4～5時間)光を放つ夜光です。なお、蓄えた光を発光させていますので、輝度(明るさ)は時間が経つに従ってだんだん弱まってきます。また、光を蓄える際のまわりの明るさや時計との距離、光の吸収度合により、光を放つ時間には多少の誤差が生ずることがあります。

## ■電池についてのお願いとご注意

●電池について

(1) 電池寿命

この時計は、新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後約2年間作動します。ただし、電池寿命はストップウォッチを1日に60分以内で使用することを基準としていますので、それ以上使用した場合は、2年に満たないうちに容量が切れる場合があります。

(2) 最初の電池

お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れることがありますのでご了承ください。

(3) 電池交換

①電池交換は、必ずお買い上げ店で「セイコー純正SB電池」とご指定の上、ご用命ください。  
②電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置すると、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。  
③電池交換は、保証期間内でも有料になります。  
④電池交換等で裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能にあった防水検査をご依頼ください。特に10気圧以上のものは検査が必要です。防水検査は日数を要しますので、期間をご確認のうえご依頼ください。

### △警告

- お客様は、時計から電池を取り出さないでください。
- やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池はただちに幼児の手の届かないところに保管してください。
- 万一口み込んだ場合は、身体に害があるため直ちに医師にご相談ください。

### △注意

- 破裂、発熱、発火などのおそれがありますので、電池を絶対にショート、分解、加熱、火に入れないでください。
- この時計に使用している電池は、充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。絶対に充電しないでください。
- 「常温(5℃～35℃)からはずれた温度」下で長時間放置すると電池寿命が短くなる場合があります。

## ■使用上の注意とお手入れの方法

### △注意

●防水性能

- ・時計の文字板または裏ぶたにある防水性能表示をご確認の上、使用可能範囲にそって正しくご使用ください。
- ・水分のついたままリュウズを回したり、引き出したりしないでください。時計内部に水分が入る場合があります。

非防水	防水	ケースの裏にWATER RESISTANTの表示のない時計	洗面や雨など一時的にかかる水濡れ	水泳や水仕事など長時間水にふれる場合	空気ボンベや、ヘリウムガスを使用する本格的な潜水	水滴がついた状態でのボタン操作	水滴がついた状態でのリュウズの操作
×	×	×	×	×	×	×	×
○	×	×	×	×	×	×	×
○	○	×	×	×	×	○	×
○	○	○	×	×	×	○	×

### △警告

- ・日常生活用防水(3気圧)の時計は水の中に入れてしまうような環境での使用はできません。
- ・日常生活用強化防水(5気圧)の時計は、スキューバダイビングを含めて全ての潜水に使用できません。
- ・日常生活用強化防水(10・20気圧)の時計は、飽和潜水/空気潜水には使用できません。

### △注意

アナログクォーツ時計の耐磁気性能

JIS耐時計種類	耐磁気保証水準	耐磁表示ケース裏フタ表示	耐磁気
—	1,600Am	無表示	ほとんどの時計が耐えられる耐磁気水準
1種	4,800Am	□	日常生活において磁界を発生する機器に5cmまで近づけても、ほとんどの場合、性能を維持できる耐磁気水準
2種	16,000Am	□	日常生活において磁界を発生する機器に1cmまで近づけても、ほとんどの場合、性能を維持できる耐磁気水準

※ダイバーズウォッチの場合は必ず耐磁時計ですので、裏フタの耐磁表示を付けておきましょう。

## 保管について



- ・「-5℃～+50℃からはずれた温度」下では、機能が低下したり、停止する場合があります。
- ・強い振動のあるところに放置しないでください。
- ・磁気や静電気の影響があるところに放置しないでください。
- ・極端にホコリの多いところに放置しないでください。
- ・製品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。(薬品の例：ベンゼン、シンナーなどの有機溶剤、およびそれらを含有するもの：ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー液、トイレ用洗剤、接着剤など水銀、ヨウ素系消毒薬液など)
- ・温泉や防虫剤の入ったひきだしなど特殊な環境に放置しないでください。

### △注意

●日常のお手入れ

- ・ケース・バンドは肌着類と同様に直接肌に触れています。汚れたままにしておくとサビて衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので常に清潔にしてご使用ください。
- ・時計をはずしたときには、柔らかい布などで汗や水分を拭き取るだけで汚れやケース、バンド及びバックルの寿命がちがってきます。
- 金属バンド
  - ・金属バンドは時々柔らかい歯ブラシ等を使い、石けん水で部分洗いなどのお手入れをお願いします。その際に、非防水の時計の場合には時計本体に水がかからないようご注意ください。
- 皮革バンド
  - ・革バンドは水分を吸い取るように軽く拭いてください。こするようには拭くと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。
- 軟質プラスチックバンド
  - ・ウレタンバンドなど軟質プラスチックでできているバンドは、蛍光灯や太陽光の下に長時間放置されたり、汚れが染み込んだりすることによって、色あせ、変色、あるいは硬くなったり切れたりする場合があります。特に半透明のウレタンバンドは、変色などが目立ちやすく、条件によっては数か月のご使用で起こり得る場合があります。湯気の多い場所に保管したり、汗や水で濡れたまま放置しておく、早く変化することがありますので、汚れたときは、石けん水で洗ってください。ただし、化学製品ですの溶剤によっては変質する場合があります。
- 非防水時計は、水(水道の水はね、雨、雪など)や多量の汗にご注意ください。万一、水や汗でぬれた場合には吸湿性のよい布などで水分を拭きとってください。
- 日常生活用強化防水時計は海水中等での使用のあと、化学薬品類を使用せず、真水で洗ってください。
- 回転ベゼルつき時計の場合、ベゼル下に汚れ等がたまり、回転が重くなる場合がありますので清潔にご使用ください。

### △注意

●かぶれやアレルギーについて

- ・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
- ・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
- ・かぶれの原因として考えられるのは、
  1. 金属・皮革に対するアレルギー
  2. 時計本体及びバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗等です。
- ・万一肌などに異常を生じた場合は、ただちに使用を中止し、医師にご相談ください。

●その他、携帯上ご注意くださいこと

- ・バンドの着脱の際に中留などで爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- ・転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う場合がありますのでご注意ください。
- ・特に乳幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることでケガを負ったり、アレルギーによるかぶれをおこしたりする場合がありますので十分ご注意ください。

### △注意

- ・提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンによって衣類や手・首などを傷つけることがありますのでご注意ください。

●定期点検について

- ・ながくご愛用いただくために、2～3年に一度程度の点検調整をおすすめします。定期的な点検により目に見えない部分の原因となる損傷を未然に防ぎ、より安心してご使用いただけます。保油状態・漏液の有無・汗や水や水分の侵入などをお買い上げ店で点検をご依頼ください。点検の結果によっては分解掃除を必要とする場合があります。
- ・部品(電池)交換の時は、「純正品部(電池)」とご指定ください。電池が切れたまま長時間放置しますと漏液などで故障の原因になりますので早急に交換をご依頼ください。
- ・その時(点検時、電池交換時)にバックンやバネ棒の交換もご依頼ください。

## ■修正用性能部品について

- ・この時計の補修用性能部品の保有期間は通常7年を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理可能です。(補修用性能部品とは、時計の機能を維持するの不可欠な修理用部品です)。
- ・修理可能な期間はご使用条件によりいろいろ異なり、精度が元通りにならない場合もありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。
- ・修理のとき、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。

## ■アフターサービスについて

- ・万が一故障した場合には、お買い上げ店にお持ちください。保証期間内の場合は保証書を添えてください。
- ・修理期間経過後の修理およびこの時計についてのご相談はお買い上げ店にうけたまわっております。なお、ご不明の点には「セイコーウォッチ株式会社お客様相談室・お客様相談係」にお問い合わせください。
- ・保証内容は保証書に記載したとおりですので、よくお読みいただき大切に保管してください。